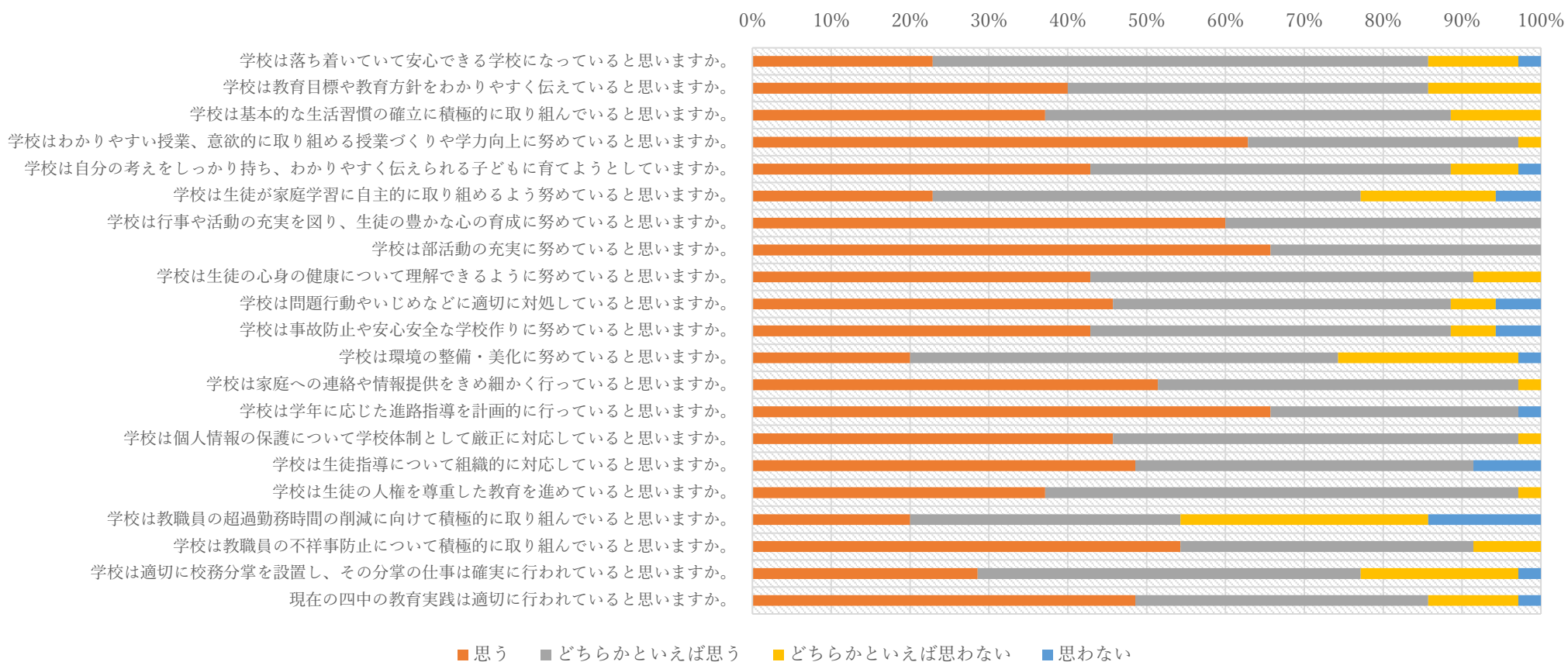


## 令和5年度 学校評価アンケート（教職員）より

### 教職員集計グラフ



教職員の「学校評価アンケート」の結果から、「わかりやすい授業・意欲的に取り組める授業づくり」「行事や部活動の充実」「計画的な進路指導」という項目で6割以上の職員が「そう思う」と回答している。1人1台のタブレット端末が配布されて以降、「個別最適で協働的な学び」を意識した学力向上と行事や部活動等をとおして豊かな心の育成に努めている姿勢の表れであると考えられる。また、学年に応じた進路指導を計画的に行うことで、生徒一人ひとりが自分の将来への関心を深め、自分の能力や適性を確認し、自己実現を達成する力を養えるよう努めていると推察できる。

逆に、「学校は超過勤務時間の削減に向けて積極的に取り組んでいる」という項目で、約半数の職員が課題と捉えており、適正な人員の確保や業務内容の精選が急務となっている。